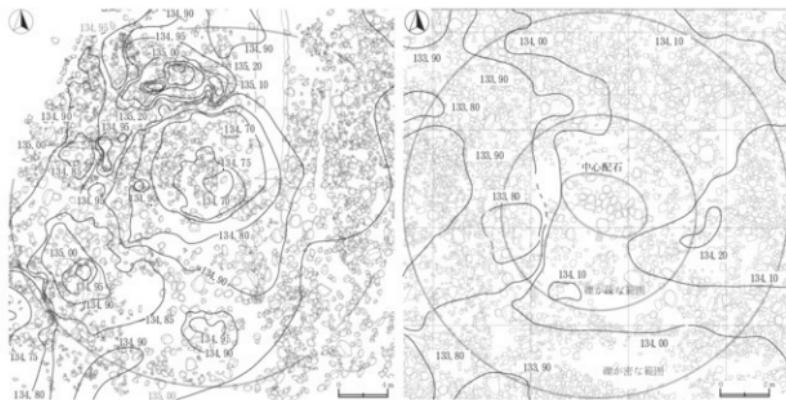


第145図 配石遺構類型



第146図 S Q1018東部環状配石と等高線

第147図 S Q3049「西部環状配石」と等高線

東部環状配石と「西部環状配石」について

東部環状配石遺構 S Q1018は、直径1.96m×1.6mの石圓炉状を呈する中心配石を持ち、その周辺に柱穴4基を配置して中心配石を覆う上屋を建てている。さらに、直径20.5mの外帯を「住居の壁」または「周堤帶」と見ることが出来るならば、円形の堅穴住居跡と相似形をなすことになる。ただし、外帯を人為的に積んだことがはっきりしているのは中心配石北東側の弧状1/4であり、他は自然地形の緩やかな盛り上がりを利用している（第146図）。

柱穴は深さ0.6m以上掘り込まれ、柱痕跡や柱抜去跡が明確に残ることから、仮に上屋を建てたとしても、解体を前提としているのだろう。上屋解体後は中心配石も含めておそらく埋め戻している。中心配石の遺存状態がよく、露出したまま放置していたとは考えづらい。

『遺構篇』99頁15行目では外帯の「北に長さ約20m、幅約6m、高さ約40cmの規模で弧状に礫が積み上げられる」とある。この地点は、S Q1015・1016・1023・1024・1036が累積して形成された。

「西部環状配石」のS Q3049を中心として直径12m程の範囲に分布する礫は、人為的な積み上げではなく、¹³層の礫層である。¹³層上面では、配石遺構・柱列跡・柱穴の複数構築に伴う礫の移動・散布が頻繁に行われていることから、等高線の乱れが著しく東部環状配石よりも微地形の特徴を見いだしにくい。それでも微地形を観察すると、中心配石の北側4mに西へ開口する浅い谷が134.0m等高線（第147図）によって描かれる。中心配石の東からは134.1mの等高線が瘦せ尾根状にのびており、その等高線は134.0m等高線と同様浅い谷をなぞって北東へ向かいN C 27で北西へとターンする。S Q3049は谷底ではないが、南北と西側の微高地に挟まれた低地に位置する（第147図）。

また、S Q3049周辺のみ礫が疎らとなるのは、旧河床や氾濫原に形成される凹地やスパンの長いうねりに砂が堆積した地点のような元々礫の露出が少ない地点を選択した上で、さらに礫を除去してS Q3049を構築したことによる。

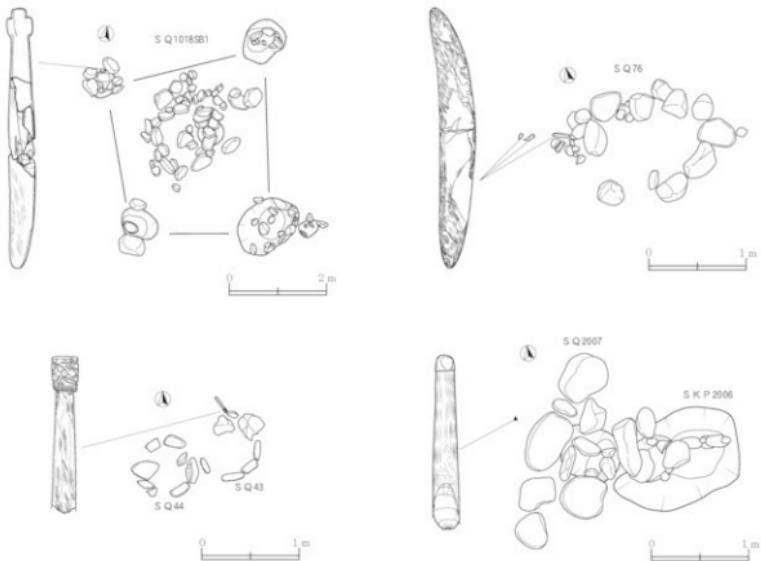
加えてS Q3049を構成する扁平礫を敷く前段階に5~10cmの土壌を敷き、礫が少ない地点を人工的に創出している。礫の露出の少ない凹地状地形を選択した時点でS Q1018のような環状配石様の景観を持っており、礫の抜き取りと盛土によってさらにそれを強調している。S Q3049と周辺の礫が少ない凹地状地形、その外側に同心円状に広がる礫層を、景観を構成する場としてとらえる。中心遺構と組み合わさせて景観を構成する地形・土壌を総合して、「遺構」として積極的に評価したい。

配石遺構における石棒・石刀の出土状態

配石遺構に伴って石棒や石刀が出土した例が4例ある（第148図）。S Q43・S Q76（『遺構篇』報告済み）・S Q2007・S Q1018中心配石である。S Q43とS Q2007からは石棒先端側が出土し、S Q76からは石刀が出土した。またS Q1018では、中心配石の北西側にあるS Q1018SB1P4の上部に石刀が埋納されていた。

石棒2例、石刀2例の僅か4例ではあるが、特徴的な傾向がある。石棒は2例とも先端側であり、接合すべき残欠は出土していない。対照的に石刀は、2例とも破片が配石近隣からまとまって出土しており、中央から折れているものほぼ完全に接合できる。石刀刃部のほぼ中央を硬いものに打ち付けており、S Q1018出土石刀の破損部は、打撃を受けた点が砕けている。

また、石棒・石刀の出土位置は、配石遺構に対して西側3例、北側1例である。石刀は2点とも配石遺構西側から出土している。配石遺構に伴って出土する石棒・石刀の扱いがかなり共通している。



第148図 配石遺構出土石棒・石刀

『遺物篇』第42図bでは、大形の石棒がベンガラ散布地点に重なって出土しており、石棒祭祀であることを報告した。他にも4基の土器塚（捨場）から出土した石棒・石剣・石刀の分布状況と接合関係から、ほとんど完全には復原できず出土位置もばらつくことを示した。石棒を小さい破片まで破壊し石斧や敲石、楔形石器へと転用することも行われていた。このことから、石棒・石刀は安置または廃棄される場所の性格によって、その扱いが変化している。

弧状・環状を呈する柱跡跡3条は、所謂「ウッド・サークル」状である。特にSA 3030・3031の2条は、柱配置が不整形ながら円環は閉じており、中央に焼土遺構SN1が伴うことから、SQ1018の様な竪穴住居跡と相似形の配石遺構とも円環の様相が似ている。

配石に使用される石材について

配石遺構と最終的に除外した「偽配石」旧SQ3011・3052の2基では石材組成に大きな差がある（第5章3節）。配石遺構に使用された森吉火山起源の岩石と新第三紀の岩石の百分率の比はSQ1018（84:16）、SQ3003（86:14）、SQ3023（71:29）、SQ3049（95:5）に対し、「偽配石」では偽SQ3011（38:62）、偽SQ3052（62:38）である。配石遺構には70%以上森吉火山起源の岩石を使用するのに対し、「偽配石」では70%未満である。この違いは縄文人の石材選択の結果であろう。

向様田A遺跡に露出した礫層には、森吉火山起源の岩石と新第三紀の岩石がある。これらの平面分布は大きく分かれており、調査区東部には森吉火山起源の岩石が、西部には新第三紀の岩石が多い。肉眼では、白くてすべすべした色調の明るい岩石が森吉火山起源であり、風化が進んで色調がより暗くざらざらしたくすんだ印象を受ける岩石が新第三紀の岩石である。この印象の差をもたらしている原因となっているのが、岩石の形成年代の新旧差に由来する風化度の差である。森吉火山起源の岩石は形成年代が新しく、風化していないのに対して、新第三紀の礫は風化が進んでいる。

そのため、新第三紀岩石が露出している西部調査区に構築されたSQ3049では、配石使用石材と周辺の自然礫層との岩相が著しい。

柱穴の特徴

柱穴の分類をすると大きさで5種類（特大・大・中・小・杭状）、埋土（黒色・褐色）で2種類の10種類に分けられる。褐色土で埋められた柱穴の内、特に礫を含まない場合は遺跡が離水した後、土壤の発達前で、洪水によって礫が堆積する前に掘られた遺構である可能性が高い。マトリクスが褐色でも礫を多く含む場合は、その地点の特徴として土壤の発達が弱い可能性があり、埋土のマトリクスが黒色の柱穴に比べて古い時期に掘られたとは言い切れない。

埋土の色調で遺構分布を分けても両者混合しており、明確な分布域を分離することはできない。S A3031のように同一遺構を構成する7基の柱穴でも、P1・2の2基の埋土は黒く、P3～7の5基は褐色となる場合がある。柱穴の構築地点の土壤によって、礫が多く露出してマトリクスは黒みが強い地点と、微高地状に砂屑が盛り上がり礫の露出が少なく土壤の発達が弱い地点にまたがって構築された場合、埋土の色は同一遺構でも異なる。

柱穴の内、掘立柱建物跡S B3071とS Q1018SB1、柱跡列4条を構成する25基がようやく意味づけできた。それ以外にも柱穴は60基あり25：60(29%)の比率でしかない。土坑は、たとえ直径0.6mを超える遺構という定義を満たしても柱穴よりも小さい遺構が多いので、これらの土坑も柱痕跡を見つけられなかっただけと考えれば、意味づけできた柱穴の比率はさらに下がることになる。

柱穴の規模・埋土色調による分布域では傾向をとらえることができず、それぞれの柱穴が乱立していたとを考えざるを得ない。柱穴は抜取痕を持つ物が多いことから、柱は恒常に遺跡に立っていたのではなく、時期性・季節性をもって設置されていたことが推定される。

向様田A遺跡の「土器塚」形成期間を120年と見積もったことがあるが、60本の柱なら2年に1本であり、大がかりな祭祀に伴ってシンボルとしての柱を立てたと想定することもできる。『遺構篇』第6章で、S Q3049と周辺の柱穴の関係について「敷石状祭壇にトーテムポール状の柱を付属させ、よりシンボリックにした可能性」を指摘している。今回の調査ではS Q3049に先行する柱穴が4基検出されたが、S Q3049と同じく存在した柱穴を抽出することができなかつたので、上記「トーテムポール」が付随する様子を決定できなかった。

以上、3か年にわたる発掘調査によって判明した遺構・遺物の特徴から、向様田A遺跡は小又川流域における縄文時代祭祀遺跡の、中心的な存在であったことが明らかとなった。もちろん本遺跡単独で存在するのではなく、小さな谷を挟んで隣り合う向様田D遺跡と合わせて祭祀場として機能したと推定される。その具体的な内容を知ることは不可能だが、小又川流域の縄文時代集落に特徴的な、地形面の高低を利用した単位的な土地利用の中での祭祀域を明らかにすることができた。

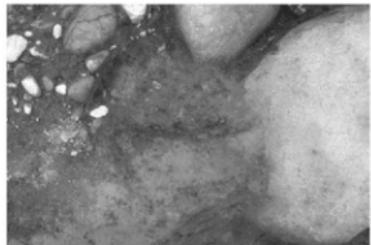
- 註1) 秋田県教育委員会 「向様田A遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ－遺構篇」
秋田県文化財調査報告書第346集 2003(平成15)年
- 註2) 秋田県教育委員会 「向様田A遺跡－森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ－遺物篇」
秋田県文化財調査報告書第370集 2004(平成16)年
- 註3) 平成18年9月29日に行われた、第2回「森吉山ダム建設工事に關わる埋蔵文化財発掘調査検討会議」において、指導委員の高橋保雄氏より「奥三面では向様田A遺跡と同様に河原の上で配石が組まれている状況が認められ、そうした配石については搬入された礫であろうという判断になった。遺構として明確な組み方をしていないものについても搬入礫である可能性はあるので、石材だと、形、色など石の属性に注意を払ってほしい」という提言をいただいた。石材鑑定の結果は、奥三面遺跡群の配石構築と同様、石材選択が行われていることを示した。
- 註4) 宇田川浩一 「向様田A遺跡の土器塚形成過程について－120年で6000個－」『岩手県考古学会発表資料』2007(平成19)年



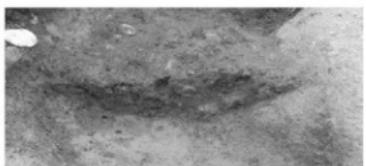
1 SK I 1075完掘 (東→)



2 SK I 1075・SK P 1054断面 (西→)



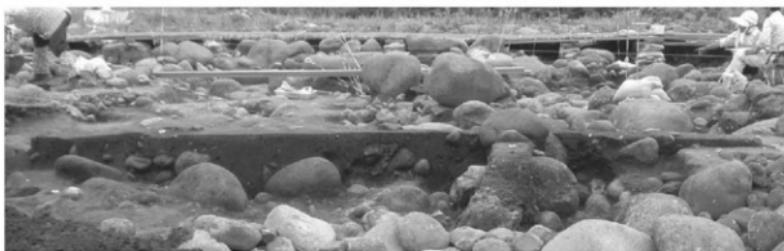
3 SK I 1075P1精査 (西→)



4 SK I 1075P1断面 (西→)



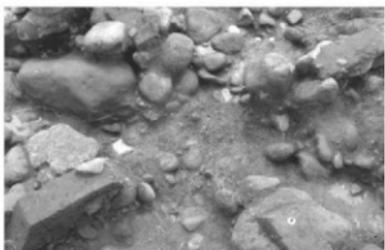
1 SK I 1078検出（東→ S Q 1014下部より）



2 SK I 1078断面（西→）



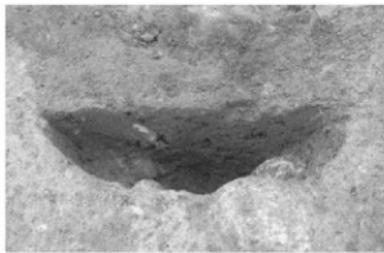
3 SK I 1078・S Q 1014東西断面（南→）



4 S Q 1014SK1完掘（北西→）



1 SK I 1078完掘（北西→）



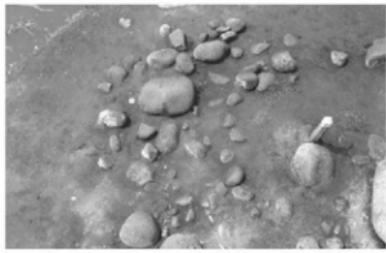
2 SK I 1078P1断面（東→）



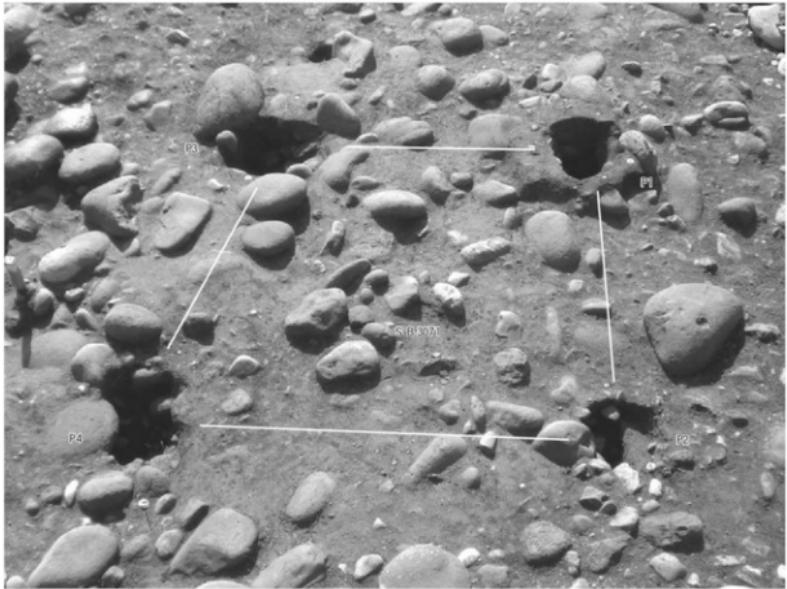
3 SK I 1078P2断面（東→）



4 円盤状石製品出土状況（南→）



5 SQ1014精査（南東→）



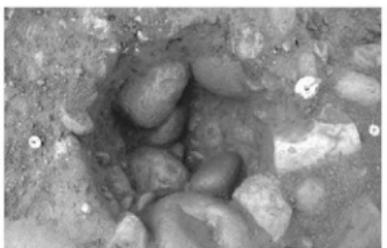
1 S B 3071完掘 (北→)



2 S B 3071P1完掘 (東→)



3 S B 3071P1断面 (東→)



4 S B 3071P2完掘 (東→)



5 S B 3071P2断面 (東→)



1 S B 3071P3完掘（東→）



2 S B 3071P3断面（東→）



3 S B 3071P4完掘（東→）



4 S B 3071P4断面（東→）



5 S A 1029完掘（西→）



6 S A 1029P1完掘（北→）



7 S A 1029P1断面（南→）



1 SA 1029P2完掘（北→）



2 SA 1029P2断面（北→）



3 SA 1029P3完掘（北→）



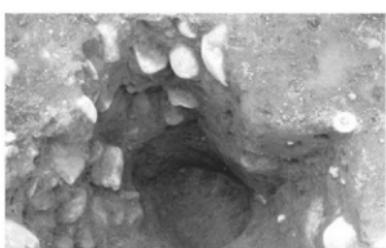
4 SA 1029P3断面（北→）



5 SA 1029P4完掘（東→）



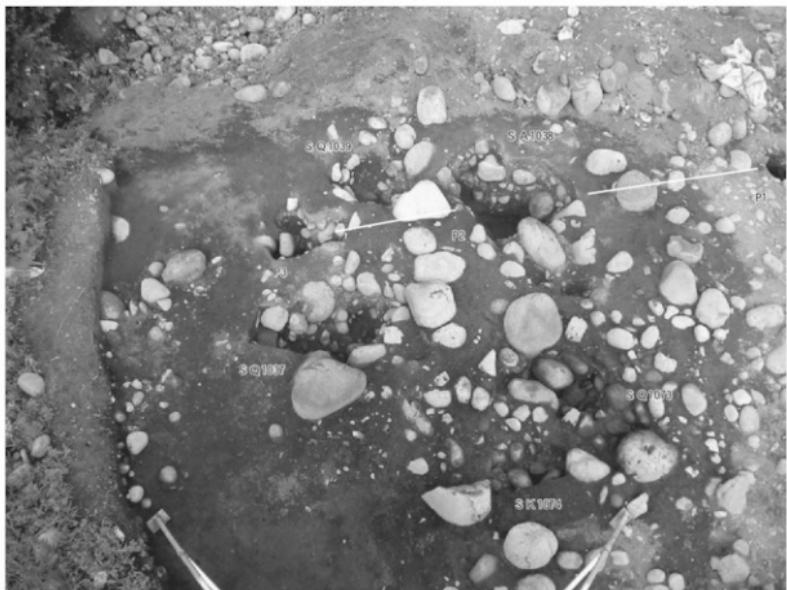
6 SA 1029P4断面（東→）



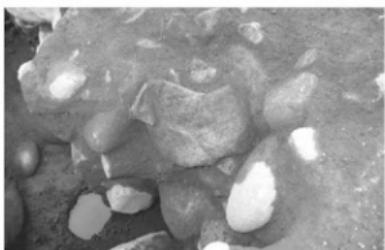
7 SA 1038P1完掘（東→）



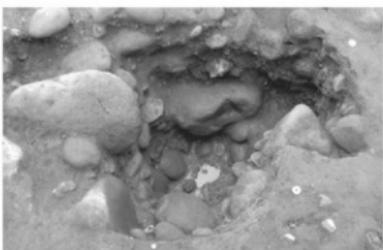
8 SA 1038P1断面（東→）



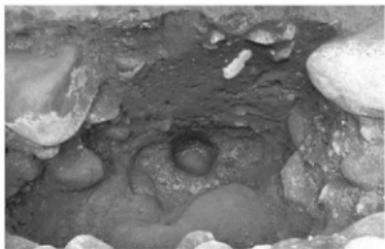
1 S A 1038・S Q 1037・1039・1073・S K 1074完掘（東→）



2 S A 1038P2遺物出土（東→）



3 S A 1038P2完掘（北→）



4 S A 1038P2柱痕跡（南→）



5 S A 1038P3精査（東→）



1 S A 1038P3完掘 (南→)



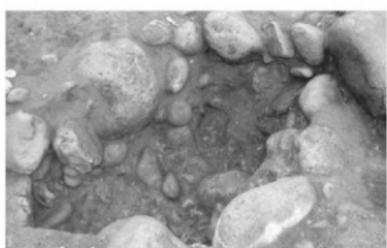
2 S A 1038P3断面 (東→)



3 S Q 1037精査 (北→)



4 S Q 1037断面 (東→)



5 S Q 1037完掘 (東→)



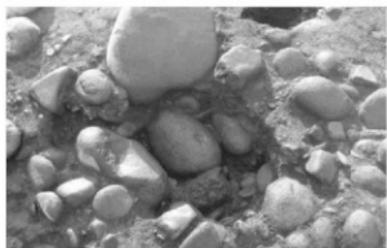
6 S Q 1073精査 (東→)



7 S Q 1073精査 (東→)



8 S Q 1073断面 (東→)



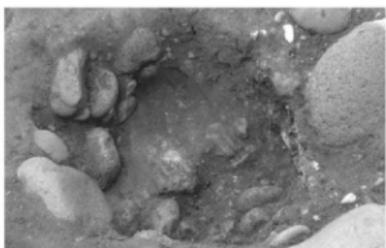
1 S Q 1073完掘（東→）



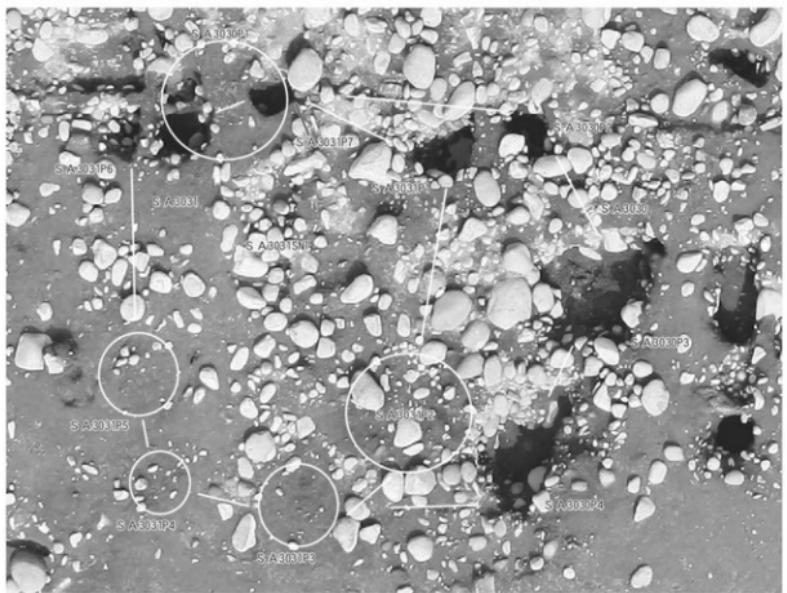
2 S K 1074断面（西→）



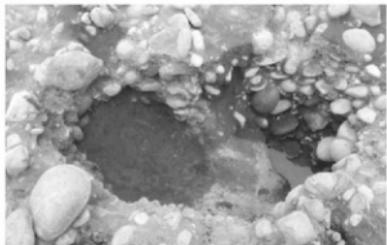
3 S K 1074完掘（東→）



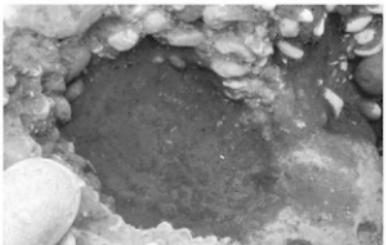
4 S Q 1039完掘（東→）



5 S A 3030・3031精査（南→）



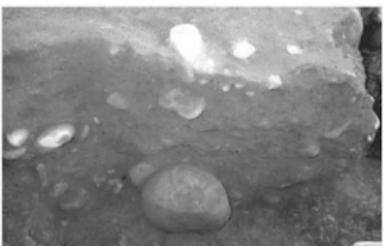
1 SA 3030P1(左)・SA 3031P6(右)完掘 (北→)



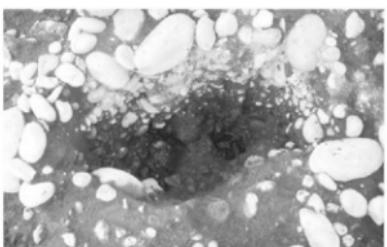
2 SA 3030P1完掘 (北→)



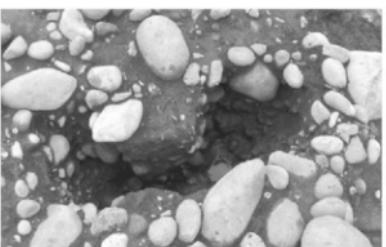
3 SA 3030P1断面 (西→)



4 SA 3030P1断面 (北→)



5 SA 3030P2(右)・3031P1(左)完掘 (南→)



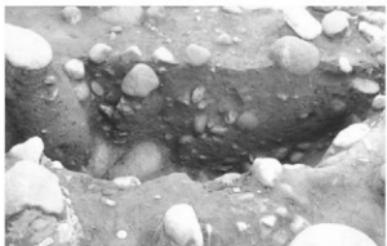
6 SA 3030P2(左)・3031P1(右)断面 (北→)



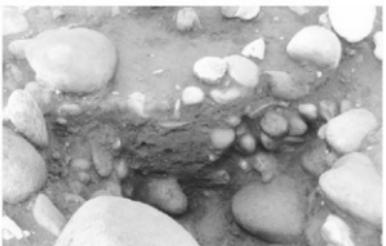
7 SA 3030P2(左)・3031P1(右)断面 (北→)



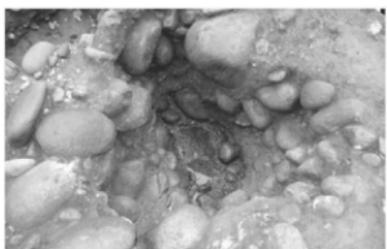
8 SA 3030P2台石出土 (南→)



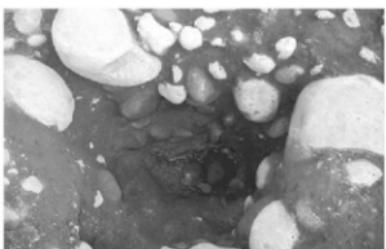
1 S A 3030P3断面（南→ 平成13年調査 S X 348）



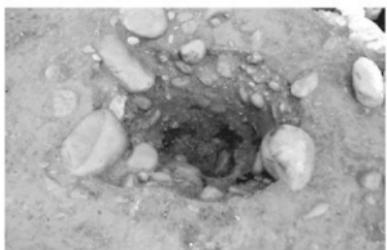
2 S A 3030P4断面（南→ 平成13年調査 S X 347）



3 S A 3031P2完掘（北西→）



4 S A 3031P2断面（北西→）



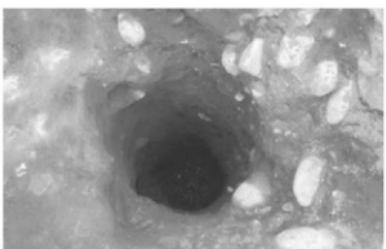
5 S A 3031P3完掘（南→）



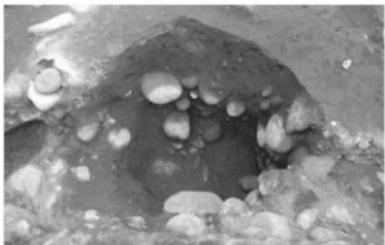
6 S A 3031P3断面（東→）



7 S A 3031P3遺物出土（東→）



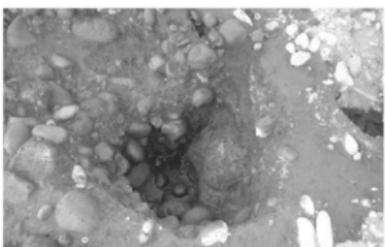
8 S A 3031P4完掘（南→）



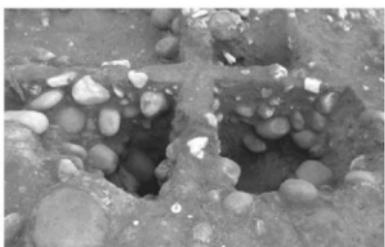
1 SA3031P5完掘（西→）



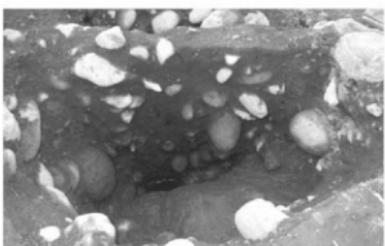
2 SA3031P5断面（西→）



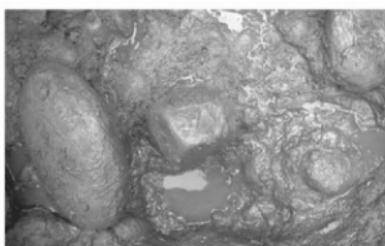
3 SA3031P6精査（南→）



4 SA3031P6断面（南→）



5 SA3031P6断面（東→）



6 SA3031P6柱痕跡（西→）



7 SA3031P7完掘（北→）



8 SA3031P7断面（南→）



1 S A3031SN1精査（東→）



2 S A3031SN1断面（南→）



3 S R1067精査（西→）



4 S R1067精査（西→）



1 S Q 1005 精査（東→）



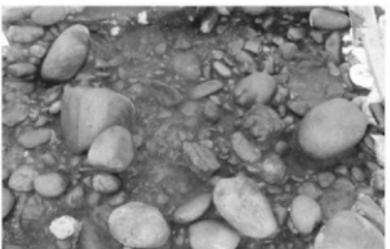
2 S Q 1005 東西断面（南→）



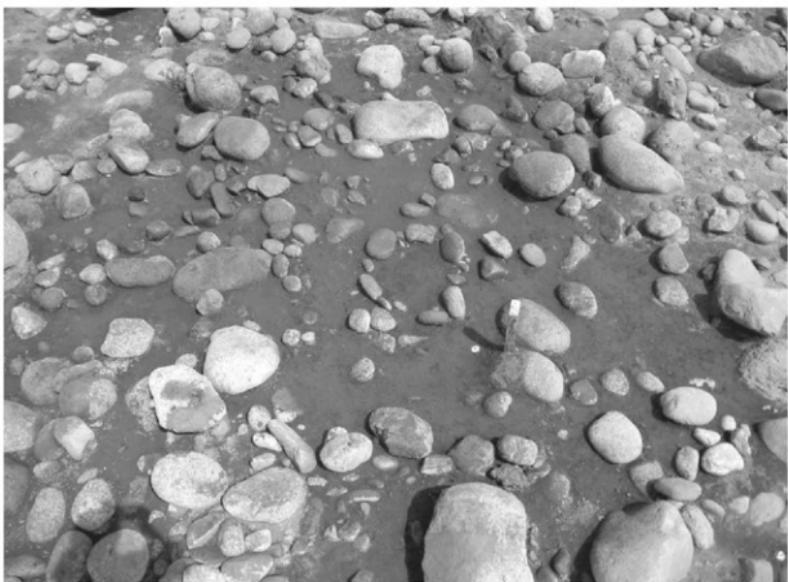
3 S Q 1005 東西断面拡大（南→）



4 S Q 1005 南北断面（西→）



5 S Q 1005 完掘（西→）



1 S Q1006検出（南→）



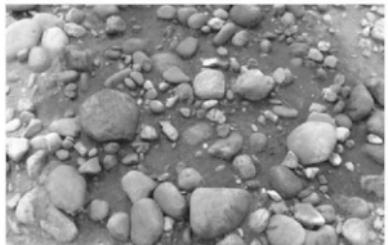
2 S Q1006東西断面（南→）



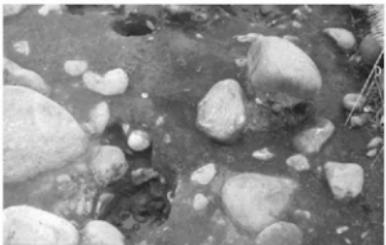
3 S Q1006中心配石（南→）



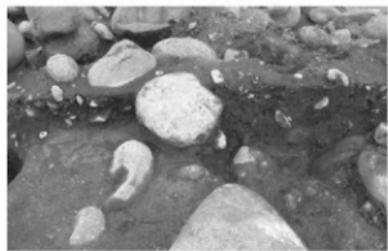
4 S Q1006中心配石南北断面（東→）



1 S Q1007精査（東→）



2 S Q1007・S K P1032完掘（南→）



3 S Q1007南北断面（西→ S K P1032が新）



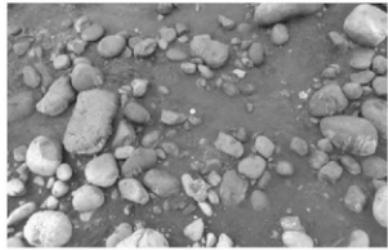
4 S Q1007南北断面（西→）



5 S Q1008精査（東→）



6 S Q1008南北断面（西→）



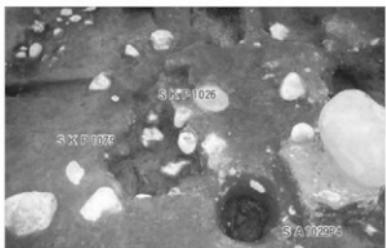
7 S Q1009精査（南→）



8 S Q1009南北断面（西→）



1 S Q 1009下部・S K P 1079断面（西→）



2 S Q 1009完掘（南→）



3 S Q 1010精査（南西→）



4 S Q 1010南北断面（西→）



5 S Q 1011精査（南→）



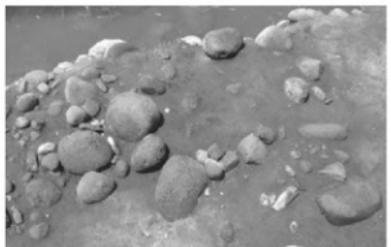
6 S Q 1011東西断面拡大（南西→）



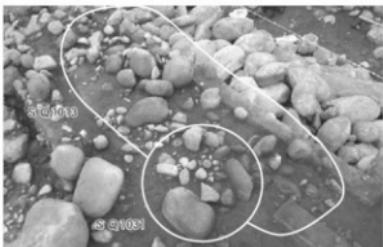
7 S Q 1031精査（西→）



8 S Q 1031断面（西→）



1 S Q1013精查（東→）



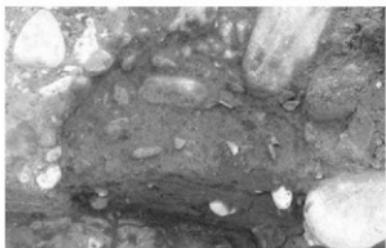
2 S Q1013完掘（北東→）



3 S Q1013南北断面（西→）



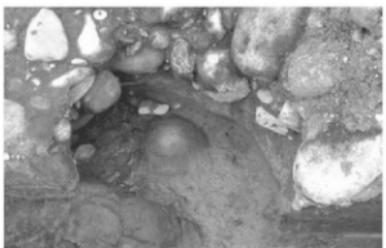
4 S Q1015精查（南→）



1 S Q 1015遺物出土（東→）



2 S Q 1015下部土坑断面（東→）



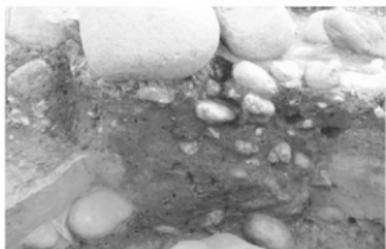
3 S Q 1015下部土坑完掘（東→）



4 S Q 1012精査（西→）



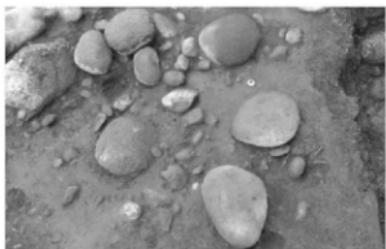
5 S Q 1016精査（南東→）



1 S Q 1016下部土坑断面（南西→）



2 S Q 1016完掘（南西→）



3 S Q 1017精査（西→）



4 S Q 1017断面（西→）



5 S Q 1018（南→ 平成13年撮影）



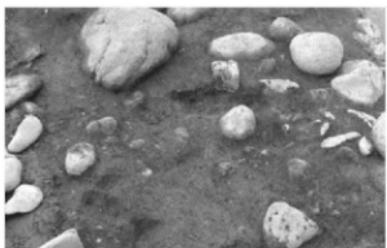
1 SQ1018全景（南→）



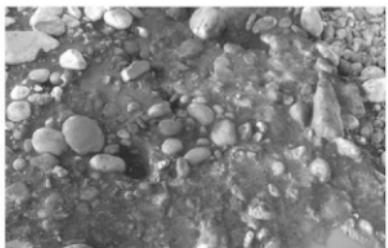
2 クラスタ確認（南→）



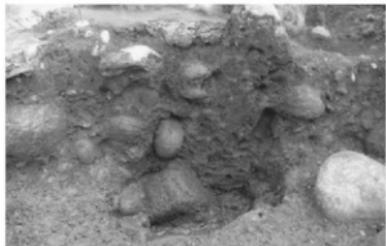
3 クラスタ堆積状態（南西→）



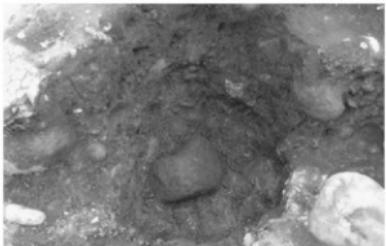
4 墓化物分布面（南→）



5 墓化物分布面除去後中心配石完掘（南→）



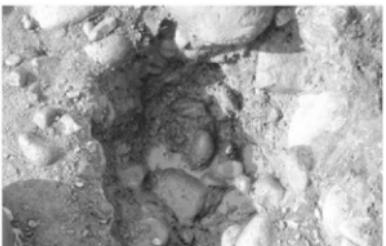
1 S Q 1018SB1P1断面（北→）



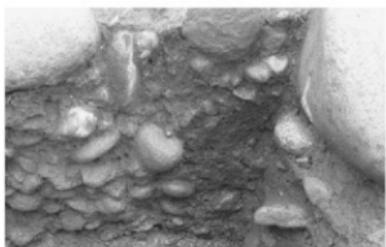
2 S Q 1018SB1P1完掘（北→）



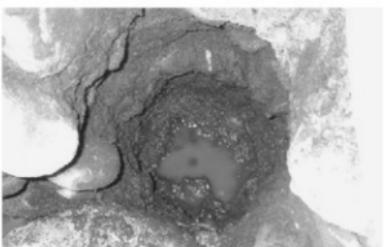
3 S Q 1018SB1P2断面（西→）



4 S Q 1018SB1P2完掘（南→）



5 S Q 1018SB1P3断面（西→）



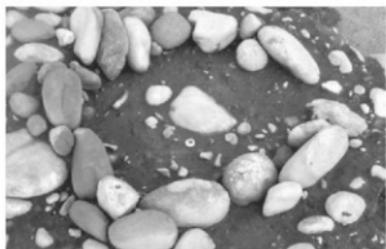
6 S Q 1018SB1P3完掘（西→）



7 S Q 1018SB1P4断面（西→）



8 S Q 1018SB1P4完掘（南→）



1 S Q 1018中心配石精査（西→）



2 S Q 1018中心配石断面（東→）



3 S Q 1018中心配石北側の土留石と炭化物出土面
(南東→)



4 河床疊の覆瓦構造（南東→ S Q 1018下）



5 S Q 1018断面（東→ 中心配石より南半）



6 S Q 1018断面（東→ 中心配石より北半）



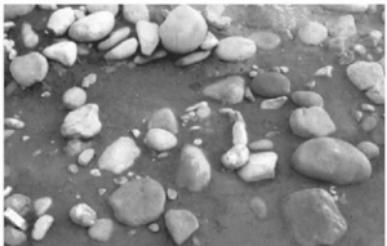
7 S Q 1018SB1P4上面石刀出土（北東→）



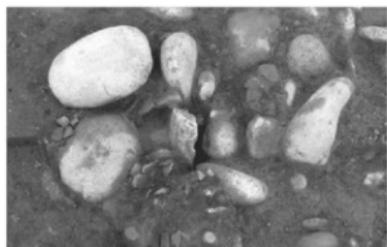
8 S Q 1018SB1P4上面石刀出土（北→）



1 SQ 1019 + 1047精查 (北→)



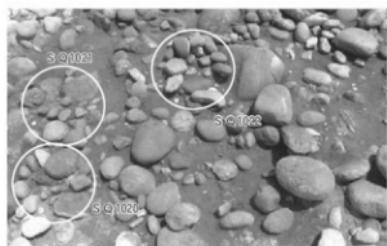
2 SQ 1019精查 (北→)



3 SQ 1019遺物出土 (北→)



4 SQ 1019断面 (西→)



5 SQ 1020 + 1021 + 1022精查 (西→)



6 SQ 1020精查 (南→)



7 SQ 1020断面 (南→)



8 SQ 1021精查 (南→)



1 S Q1021断面（南→）



2 S Q1022精査（西→）



3 S Q1023精査（南→）



4 S Q1023断面（東→）



5 S Q1024精査（北→）



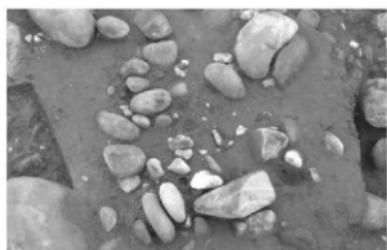
1 S Q1024断面（東→）



2 S Q1036精査（西→）



1 S Q1036断面 (北→)



2 S Q1047精查 (北→)



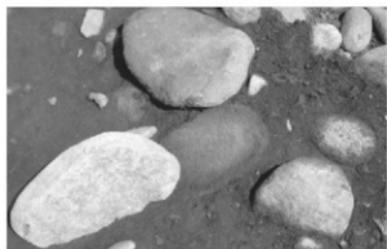
3 S Q1047断面 (西→)



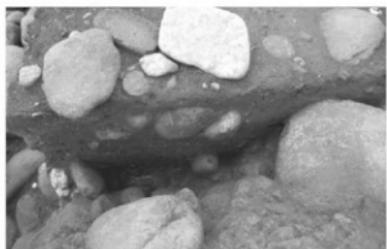
4 S Q1065遗物出土 (西→)



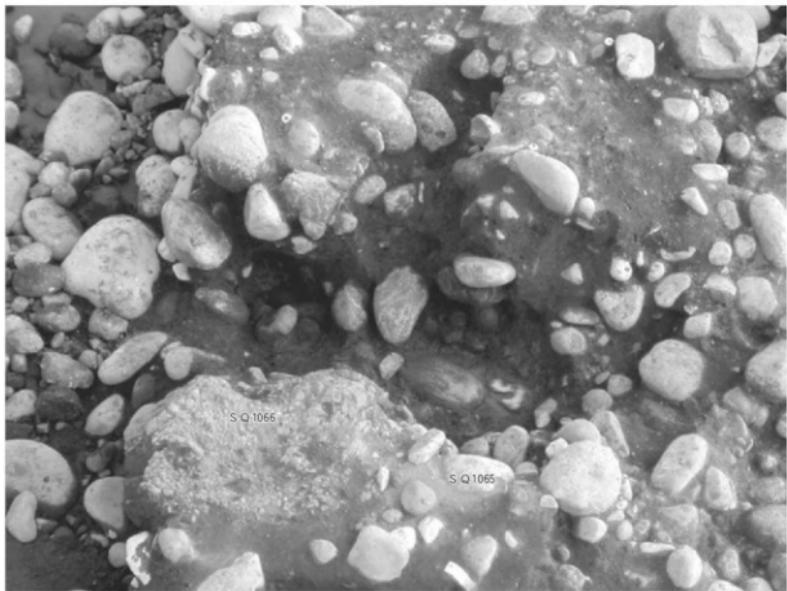
5 S Q1065断面 (西→)



6 S Q1066上面石皿出土 (南西→)



7 S Q1066断面 (北→)



1 S Q 1065(右)・S Q 1066(左)完掘(北→)



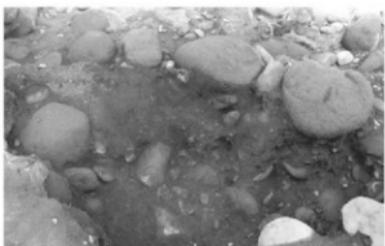
2 S Q 2007精査(南→)



3 S Q 2007石棒出土(西→)



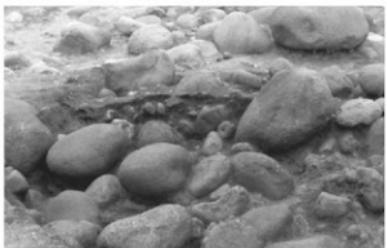
4 S Q 2007断面(東→)



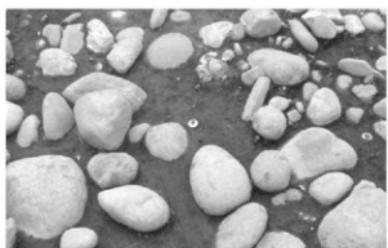
5 S Q 2007完掘(東→)



1 S Q2009精査（南→）



2 S Q2009断面（東→）



3 S Q3003精査（東→）



4 S Q3003断面（東→）



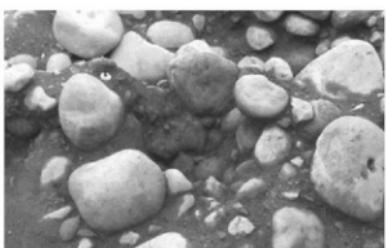
5 S Q3004精査（東→）



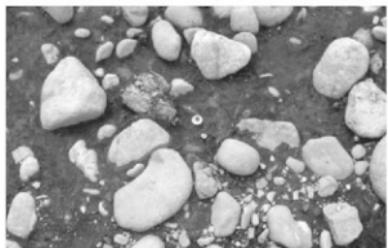
6 S Q3004精査（東→）



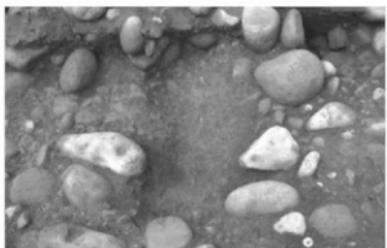
7 S Q3004断面（東→）



8 S Q3004完掘（東→）



1 S Q3005精査（東→）



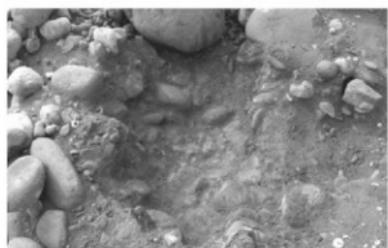
2 S Q3005完掘（東→）



3 S Q3005断面（東→）



4 S Q3023精査（東→）



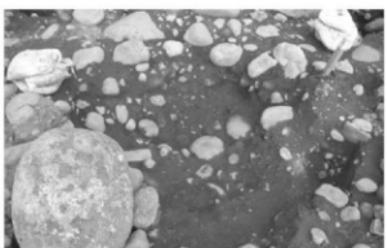
5 S Q3023完掘（東→）



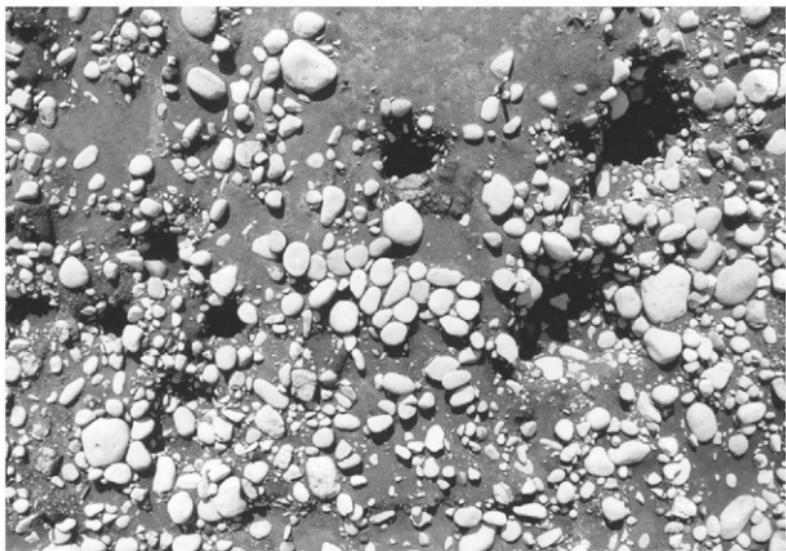
6 S Q3055断面（西→）



7 S Q3055精査（西→）



8 S Q3055完掘（西→）



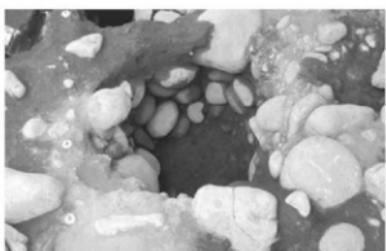
1 S Q 3049精査（北→ 平成13年撮影）



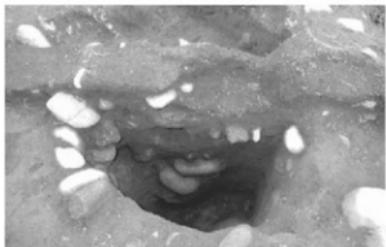
2 S Q 3049疊除去後断面（南→）



3 S K P 3053断面（北東→）



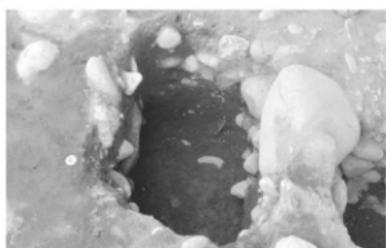
4 S K P 3053完掘（東→）



1 SKP 3054断面（南→）



2 SKP 3054出土状況（南→）



3 SKP 3054完掘（南→）



4 SQ43(右)・44(左)精査（南→）



5 SQ43(右)・44(左)断面（南→）



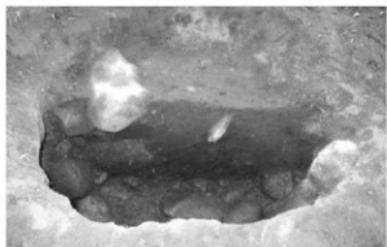
6 SQ44下部土坑完掘（北西→）



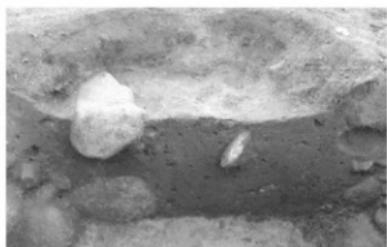
7 SQ275精査（南→）



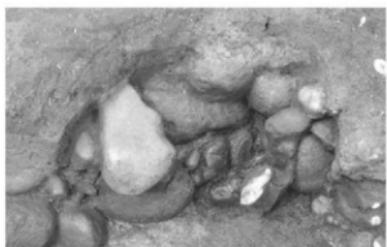
8 SQ275断面（西→）



1 SK F 1027断面（東→）



2 SK F 1027断面（東→）



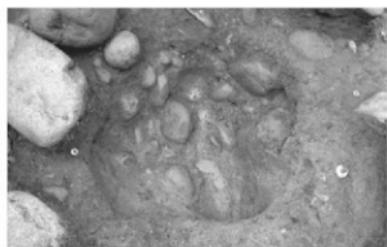
3 SK F 1027完掘（東→）



4 SK 1025精査（南→）



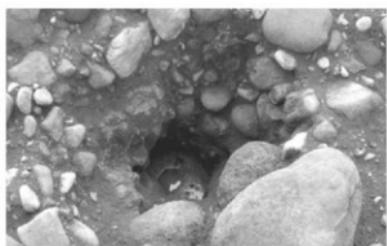
5 SK 1025立石検出（南→）



6 SK 1025完掘（北→）



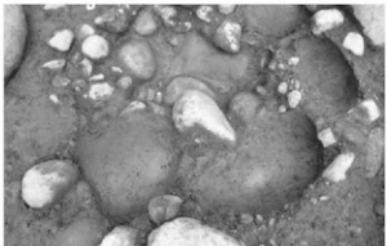
7 SK 1049断面（南→）



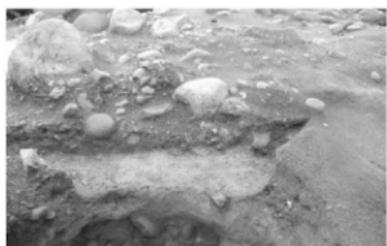
8 SK 1049完掘（東→）



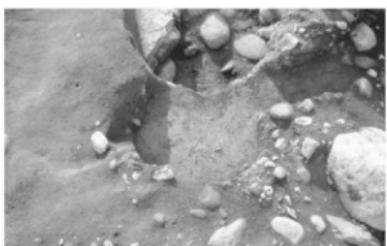
1 SK 1050断面（南→）



2 SK 1050完掘（南→）



3 SK 1055断面（西→）



4 SK 1055完掘（東→）



5 SK 2010断面（東→）



6 SK 2010完掘（北→）



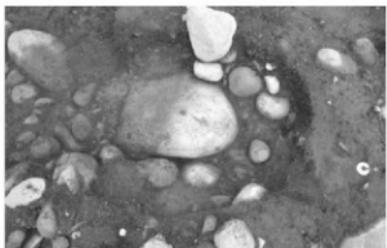
7 SK 2012断面（北→）



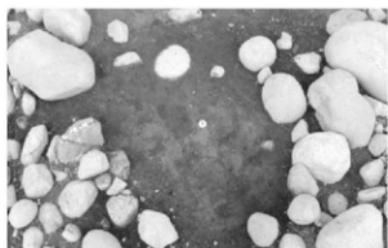
8 SK 2012完掘（北→）



1 SK 3010断面（東→）



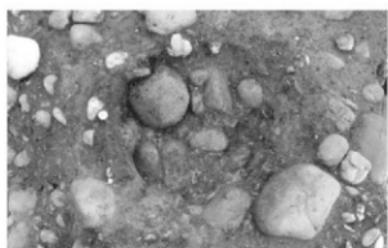
2 SK 3010完掘（南→）



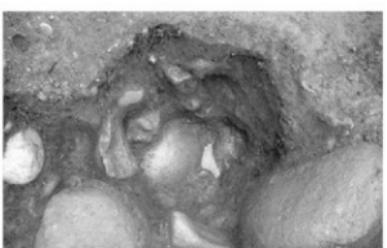
3 SK 3015確認（東→）



4 SK 3015完掘（西→）



5 SK 3037完掘（北→）



6 SK P 1032完掘（西→）



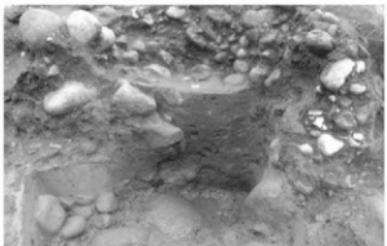
7 SK P 1040断面（北→）



8 SK P 1040完掘（北→）



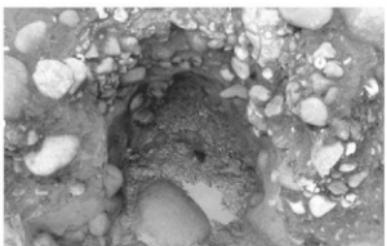
1 SKP 1041上部断面（南西→）



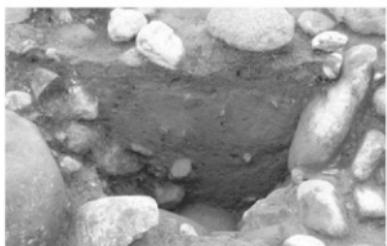
2 SKP 1041断面（南西→）



3 SKP 1041柱痕迹精查（南西→）



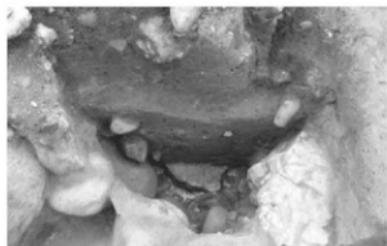
4 SKP 1041完掘（南西→）



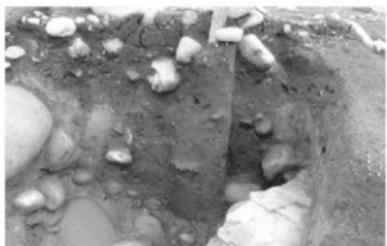
5 SKP 1043断面（北→）



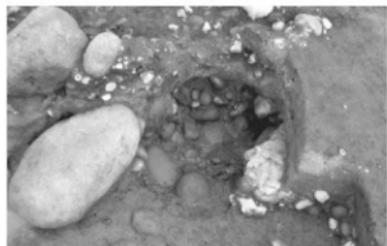
6 SKP 1043完掘（北→）



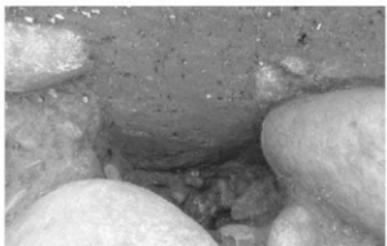
7 SKP 1045精查（西→）



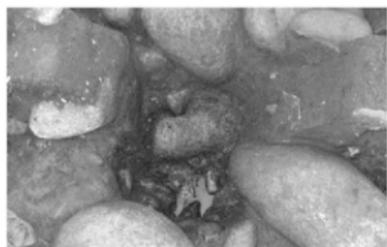
8 SKP 1045断面（西→）



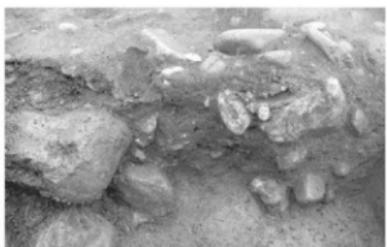
1 SKP 1045完掘（西→）



2 SKP 1052断面（西→）



3 SKP 1052完掘（西→）



4 SKP 1053断面（東→）



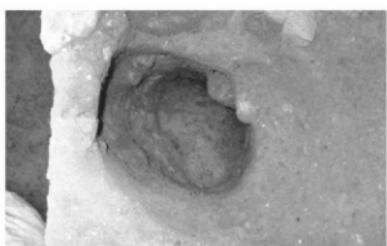
5 SKP 1054断面（西→）



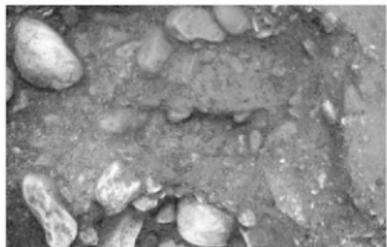
6 SKP 1054完掘（西→）



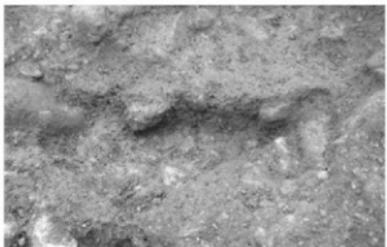
7 SKP 1057精査（西→）



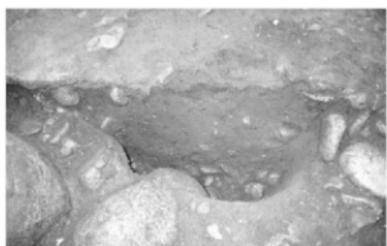
8 SKP 1057完掘（南→）



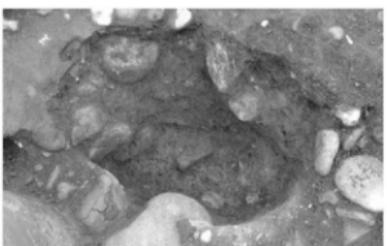
1 SKP 1058精查 (西→)



2 SKP 1058断面 (西→)



3 SKP 1059断面 (西→)



4 SKP 1059完掘 (西→)



5 SKP 1060断面 (西→)



6 SKP 1060完掘 (西→)



7 SKP 1061断面 (西→)



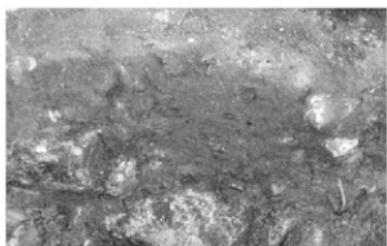
8 SKP 1061完掘 (西→)



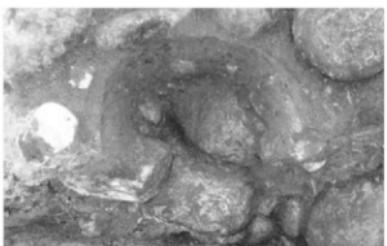
1 SKP 1062断面（東→）



2 SKP 1062完掘（南→）



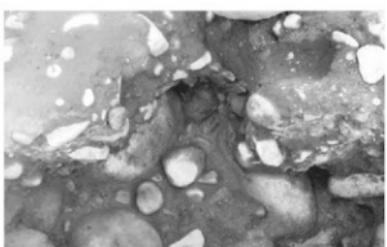
3 SKP 1063断面（北→）



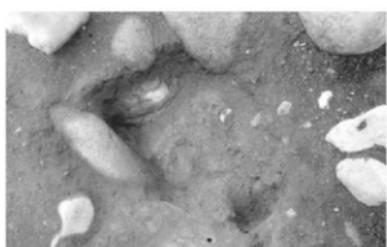
4 SKP 1063完掘（北→）



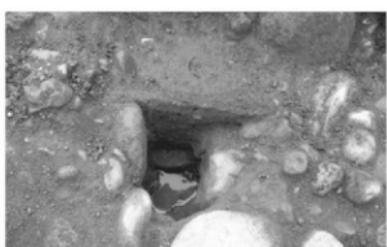
5 SKP 1064断面（西→）



6 SKP 1064完掘（西→）



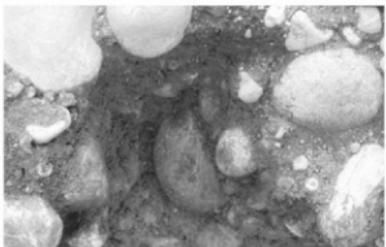
7 SKP 1070完掘（南→）



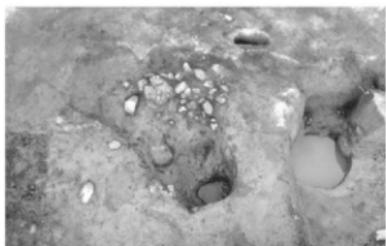
8 SKP 1071断面（東→）



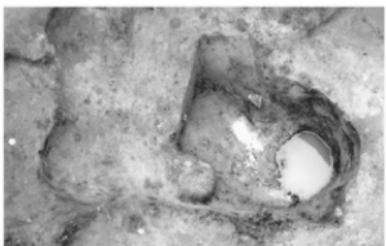
1 SKP 1071断面（東→）



2 SKP 1071完掘（東→）



3 SKP 2001精査（西→）



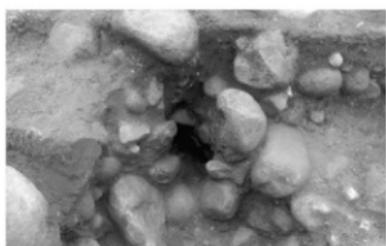
4 SKP 2001完掘（北西→）



5 SKP 2002出土状況（西→）



6 SKP 2002完掘（西→）



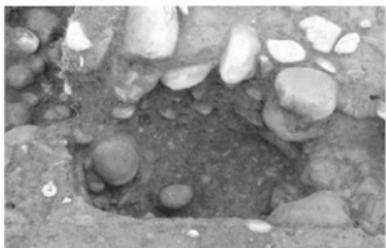
7 SKP 2005断面（東→）



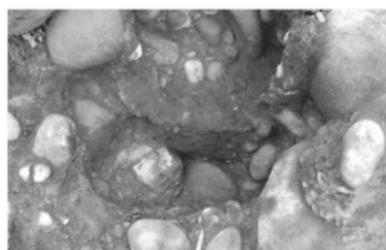
8 SKP 2005完掘（東→）



1 SKP 2006柱痕 (南→)



2 SKP 2008完掘 (西→)



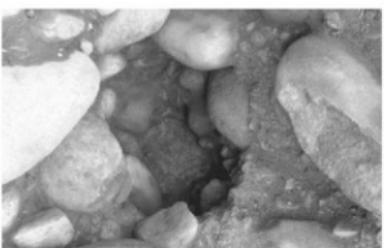
3 SKP 3002断面 (東→)



4 SKP 3002完掘 (南→)



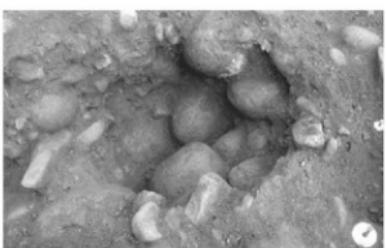
5 SKP 3008断面 (西→)



6 SKP 3008完掘 (南西→)



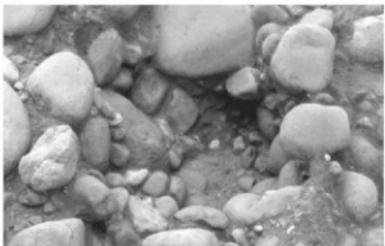
7 SKP 3013断面 (西→)



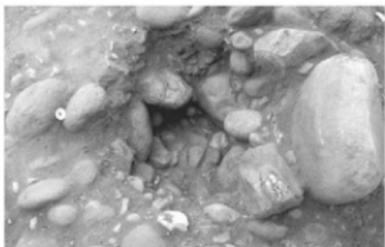
8 SKP 3013完掘 (西→)



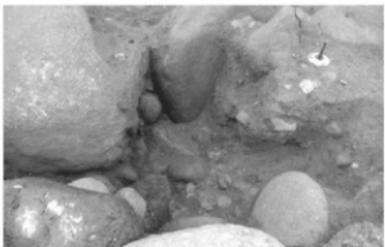
1 SKP 3018断面（西→）



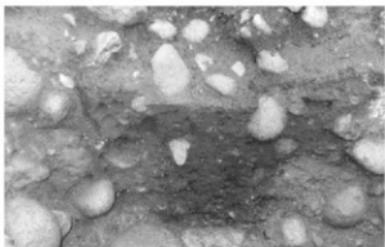
2 SKP 3018完掘（東→）



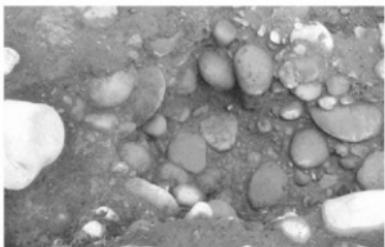
3 SKP 3026完掘（北→）



4 SKP 3028完掘（北→）



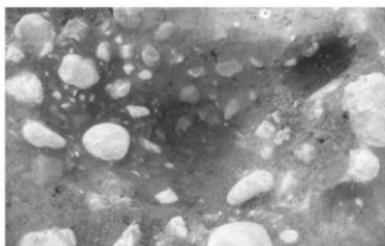
5 SKP 3034断面（東→）



6 SKP 3034完掘（東→）



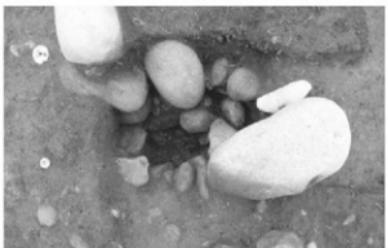
7 SKP 3035断面（南→）



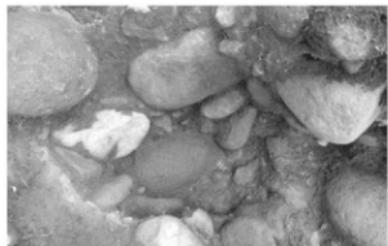
8 SKP 3035完掘（南→）



1 SKP 3036断面（北→）



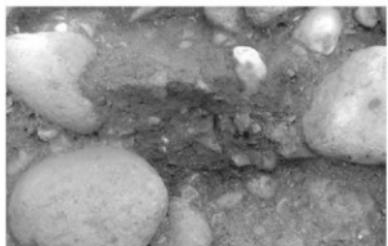
2 SKP 3036完掘（南→）



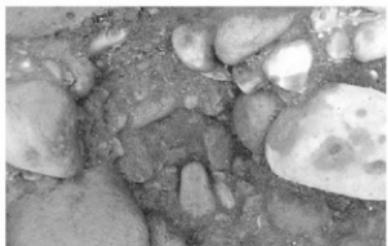
3 SKP 3038完掘（西→）



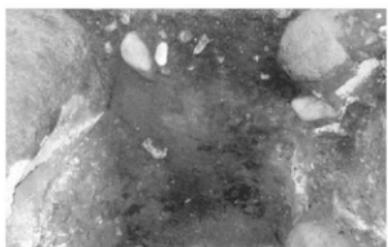
4 SKP 3038断面（西→）



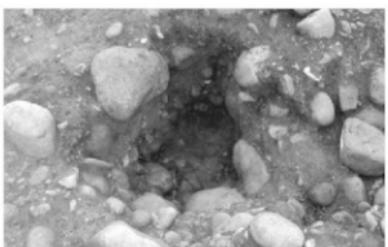
5 SKP 3039断面（東→）



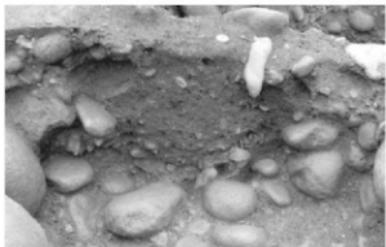
6 SKP 3039完掘（東→）



7 SKP 3040断面（東→）



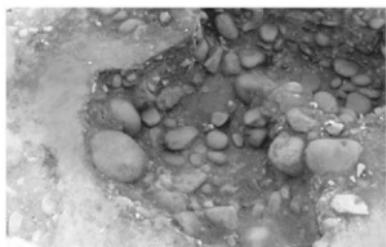
8 SKP 3040完掘（東→）



1 SKP 3041断面（西→）



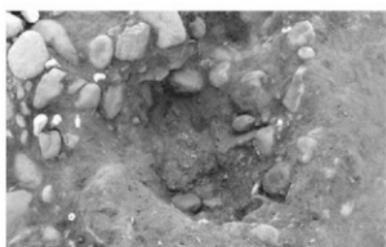
2 SKP 3041遺物出土（西→）



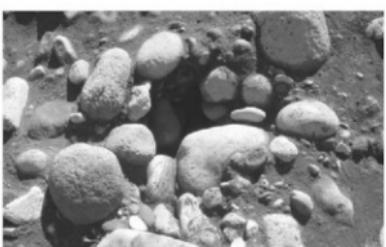
3 SKP 3041完掘（西→）



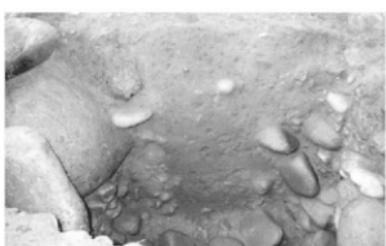
4 SKP 3042断面（南→）



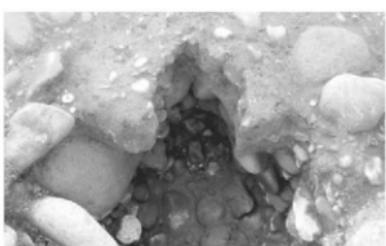
5 SKP 3042完掘（北→）



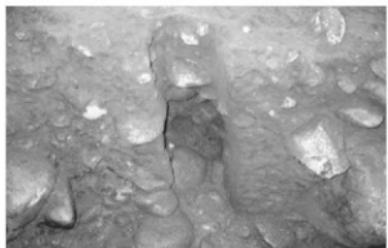
6 SKP 3043完掘（北→）



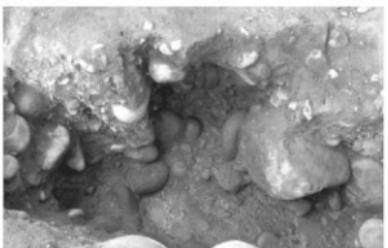
7 SKP 3044断面（東→）



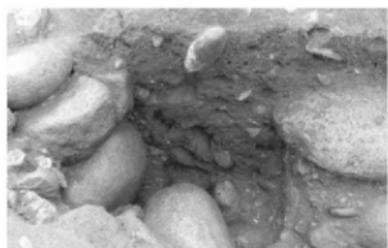
8 SKP 3044完掘（東→）



1 SKP 3045断面（南→）



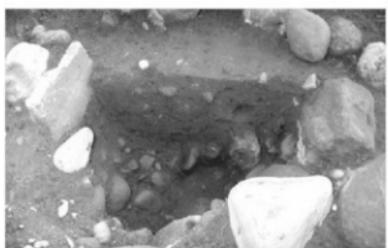
2 SKP 3045完掘（南→）



3 SKP 3046断面（北→）



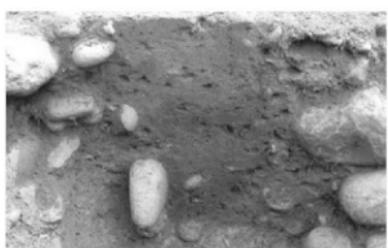
4 SKP 3046完掘（北西→）



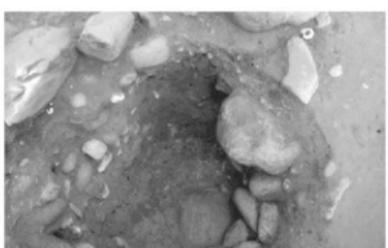
5 SKP 3047完掘（北西→）



6 SKP 3048完掘（南東→）



7 SKP 3051断面（西→）



8 SKP 3051完掘（西→）